

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施策	①環境・エネルギー分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	○島しょ地域における環境問題や再生可能エネルギーの技術交流・技術協力等
主な取組	島しょ間の環境課題に対する協力ネットワークの構築		対応する成果指標	国際会議等において知見を共有した海外地域の数
施策の方向	・持続可能な循環型社会を実現するため、クリーンエネルギー協力覚書を締結しているハワイ州等とも連携しながら、島しょ地域間の交流と協力体制の構築を目指すグローバルグリーンアイランドサミット (GGIS) フォーラム等の国際会議への参加や開催、海外研修生の受入れ等を通して、外来種問題、海洋ごみを含むごみ処理問題、再生可能エネルギーの導入促進など、島しょ地域における環境問題や再生可能エネルギーの技術交流・技術協力等に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
平成28年度に締結したグリーンアイランドパートナーシップ設立に関する合意書の内容(島しょ地域が直面する環境課題の認識及び島しょの持続可能な取組の強化等)を実現するため、世界の島しょ間協力ネットワークを構築する。	県, 濟州特別自治道, ハワイ州, 海南省, 等	国際会議(グローバルグリーンアイランドサミット)の開催、フォーラム等への参加		
		開催・参加回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	環境部環境政策課	【 098-866-2395 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	グローバルグリーンアイランドサミット (GGIS) 推進事業			予算事業名	グローバルグリーンアイランドサミット (GGIS) 推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	66	24	県単等	直接実施	1,439
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>濟州特別自治道主催の「第10回世界の地方自治体によるサイバー環境フォーラム」のWeb会議で本県の地球温暖化対策に関する取組について発表した。</p>				<p>第2回GGISフォーラムの開催に向け、実務者会議に参加する。</p>		

活動指標名	開催・参加回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	Web開催のサイバー環境フォーラムに参加	Web開催のサイバー環境フォーラムに参加	Web開催のサイバー環境フォーラムに参加	1回	100.0%	概ね順調	新型コロナウイルス感染症の影響により、第2回GGISフォーラムの開催は見送られたため、その代わりに濟州主催のWeb会議に参加したことにより協力体制の維持を図り、知見を共有することができた。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

コロナ禍においてもWeb会議を活用することで世界の島しょ地域と協力体制の維持を図り、知見を共有することができたことから、おおむね順調と判定した。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>新型コロナウイルスの感染拡大防止等の観点から今後も国際交流が制限されることが見込まれるが、国際協力体制を維持するため、Web会議等も活用し、さらなる取組の促進を図る。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により国際交流が制限された中で、Web会議等を活用し、国際協力体制の維持と知見の共有を図った。</p>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑥ 他地域等の動向 (外部環境の変化)	新型コロナウイルス感染症の影響により国際交流が制限され、第2回GGISフォーラムの開催は見送られた。	② 連携の強化・改善	第2回GGISフォーラムの開催に向け、Web会議等も活用し、国際協力体制の維持を図る。
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	通訳の同席が必須等、英語が不自由なことで、Web会議の日程調整に時間がかかっている。	① 執行体制の改善	他課の英語が堪能な職員に協力を依頼。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施策	①環境・エネルギー分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	○赤土等流出防止対策技術に関する情報発信や技術移転
主な取組	赤土等流出防止対策技術に関する情報発信の強化		対応する成果指標	国際会議等において知見を共有した海外地域の数
施策の方向	・ 土壌流出は東南アジアや太平洋島しょ国等でも問題になっていることから、本県の赤土等流出防止対策技術に関する情報発信や技術移転等に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
土壌流出は東南アジアや太平洋島しょ国等でも問題になっていることから、本県の赤土等流出防止対策技術に関する情報発信や技術移転等に取り組む。	県	条例、指針、技術関連資料の英訳とホームページでの公開			
		ホームページで公開する英訳した赤土等流出防止対策関連資料の件数(累計)			
		3件	4件(7件)	4件(11件)	
担当部課【連絡先】	環境部環境保全課		【 098-866-2400 】	関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/hozen/mizu_tsuchi/re_dclay/index.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/hozen/mizu_tsuchi/re_dclay/index.html</a> □

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 赤土等流出防止対策推進事業				予算事業名 赤土等流出防止対策推進事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	直接実施	8,880	9,368	一括交付金 (ソフト)	直接実施	11,553
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
赤土等流出防止対策技術に関する英語版の資料を県ホームページに掲載した。				赤土等流出防止対策技術に関する資料の英語版を作成し、県ホームページに掲載する。		

活動指標名	ホームページで公開する英訳した赤土等流出防止対策関連資料の件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-件	-件	3件	3件	100.0%	順調	沖縄県赤土等流出防止条例及び施行規則並びに赤土等流出防止対策ハンドブックの英語版資料を県HPで公開した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>沖縄県赤土等流出防止条例及び施行規則、赤土等流出防止対策ハンドブックの英語版資料の3点を県HPで公表した。                      条例等の英語版資料を公表したことにより、開発事業における赤土等流出防止対策および規制について広く情報を発信することができた。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
	<p>赤土等流出防止対策でも重要性の高い、沖縄県赤土等流出防止条例や対策内容に関する情報を優先的にHPで公開した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	赤土等流出防止対策技術に関する英語版資料がなく、既存資料等の英訳等が必要になる。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	既存の赤土等流出防止対策技術等に関する資料の英語版を作成し、県ホームページに掲載し、広く情報発信を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施策	①環境・エネルギー分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	○国立沖縄自然史博物館の設置促進
主な取組	国立沖縄自然史博物館誘致に係るイベント開催		対応する成果指標	国際会議等において知見を共有した海外地域の数
施策の方向	・東アジア、東南アジア全体の自然史科学を支える研究及び人材育成の拠点となる「国立沖縄自然史博物館」の県内への誘致に向けて、シンポジウムの開催や関係団体等への説明会の開催など、県民の気運醸成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄県に国立自然史博物館を誘致するため、国への要請、シンポジウムや関係団体等への説明会など、機運醸成に向けた取組を実施する。	県	認知度の向上及び機運醸成を図るためのシンポジウム・企画展等周知啓発イベントの開催		
		シンポジウム等周知啓発イベントの開催数(累計)		
		5回	5回(10回)	5回(15回)
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2418 】	関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/shizen/shizenshih-akubutsukan.html">https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/shizen/shizenshih-akubutsukan.html</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	国立自然史博物館誘致推進事業			予算事業名	国立自然史博物館誘致推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	4,935	27,268	県単等	委託	30,571
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
一般県民向けシンポジウムを11月30日に、子ども向けシンポジウムを11月12日に実施した。また、県内5圏域で企画展を実施した。				東京でのシンポジウム、県内でのシンポジウム、県内5圏域での企画展を実施する。		

活動指標名	シンポジウム等周知啓発イベントの開催数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1回	2回	7回	5回	100.0%	順調	一般県民向けシンポジウムを11月30日に、子ども向けシンポジウムを11月12日に実施した。また、県内5圏域で企画展を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和4年度は、シンポジウム(2回)、企画展(5回)を合計7回開催し、目標値を上回った。一般県民向けシンポジウムには約550名の参加があるなど、機運醸成が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
・県主催のシンポジウム等の開催を継続し、認知度の向上および機運醸成を図る。	・県主催のシンポジウム、企画展を拡充して開催し、機運醸成が図られた。



様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	普及啓発の取組を継続し、認知度の向上および機運醸成を図り、賛同者(団体等)を広げていく必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	県主催のシンポジウム等の対象を県外にも広げて開催するなど、継続して取り組み、認知度の向上および機運醸成を図る。